

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 10 日

事務事業名		水辺空間管理運営事業						事業区分			担当	
		政策体系上の位置付け						新規/継続	継続	事務事業No.		040903000780
		総合計画の施策名						単独/補助	単独	所属課		060201
政策体系	政策名		0409 自然環境の保全				主要事業		対象外	都市整備課		
	政策名		04 快適で潤いのある生活環境づくり				市長マニフェスト		対象外			
	施策名		09 自然環境の保全				未来PJ事業		対象外	グループ		整備・管理G
	基本事業名		03 森林、里山の活用				合併建設計画事業		対象外			
		財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計					
01	08	04	02	03	00		水辺空間事業					
法令根拠							単年度繰返し (年度~)					
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入						

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像) 桜川市の誇れるふるさとの景観を保全し、市民が賑わい散策する水辺空間づくりを基本コンセプトとし、岩瀬地区：大神宮橋～山王橋までの約1kmの区間、真壁地区：塙世橋北側を水とふれあう憩いの場として利用できるよう整備された。 現在は、都市整備課が維持管理を務める。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 岩瀬地区：防草シート・舗装・照明灯(LEDツラバ 衤、1灯式:3基、2灯式:6基)の工事及び河川敷除草・集草・運搬の維持管理・ベンチの設置 真壁地区：河川敷除草 管理業務委託をする。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
岩瀬地区：防草シート・舗装・照明灯(LEDツラバ 衤、1灯式:3基、2灯式:6基)の工事及び河川敷除草・集草・運搬の維持管理・ベンチの設置 真壁地区：河川敷除草 管理業務委託をする。	維持管理済み距離	m	1,064.00	1,064.00	1,064.00	1,064.00	1,064.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
水辺空間を利用する地域市民	桜川市人口	人	43,190.00	42,444.00	42,048.00	41,652.00	41,256.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
水とふれあう憩いの場として快適に利用してもらう。	除草回数	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量	
		(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
投入	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,894	1,499	1,930	1,930	1,930
	事業費計(A)	千円	1,894	1,499	1,930	1,930	1,930	1,930
量	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人		
	述べ業務時間	時間	95.00	91.00	90.00	90.00		
	人件費計(B)	千円	276	264	261	261		
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,170	1,763	2,191	2,191		

		27年度事業費 実績(千円)			28年度事業費 予算(千円)		
事業費の内訳	11 需用費	60			30		
	13 委託料	1,439			1,900		
	合計		1,499				1,930

(4) 当該年度の実施内容

	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	水辺空間管理運営事業	事務事業No.	40903000780	所属課	都市整備課
-------	------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 県が掲げている美しい水際線を守る・水際線を軸として、うるおいのある生活環境をつくる・水際線の自然に親しむ空間を創造する3つの理念に基づき県が実施した事業であり、同時に桜川を中心に南側にはサイクリングロードの整備とも整合を図り、周辺環境と一体となった整備を図る目的で計画され整備された。市の事業としては、利用者の便を図るベンチや外灯の整備、及び草刈り等による維持管理を実施する。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 人工的な川の流れては無いので、台風等水の増水時に学童等の転落危険がある。(安全性の確保)
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 H27年度に注意喚起の看板を設置(6か所)

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 地域市民が、快適で賑わいのある散策路として利用しているため、結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 不特定多数の地域市民が利用しているので市で管理するのが妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 県と管理区分協定を締結しており今の状態がベストである。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 散策路ということもあり、管理事業の休止となると草が繁茂し、見通しの悪い空間になり、安全面からも影響があると思われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似する事業は特になし。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 近隣市民の憩いの散策路であり、削減余地はない。事務遂行にあたっては人件費削減はむずかしい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 多くの地域市民が利用する管理事業であり、不公平ではなく適正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 茨城県と地元区長との調整が難航し、一部の工事が完了していない。双方に働きかけ、早期の完成を促す方策を考える必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 水辺の整備に伴い、県と充分に協議を重ね、また、早期完成に向けての地元との協議、調整を図り、理解を求める。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 <table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td></td> </tr> </table>		成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果																		
成果優先度評価結果																						
コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	--